

東三河振興ビジョン

【主要プロジェクト推進プラン】

～ スポーツ大会を活かした地域振興 ～

東三河ビジョン協議会

平成 27 年 3 月

目次

I 「主要プロジェクト推進プラン」の策定方針	1
1 テーマの設定	1
2 位置づけ	1
3 策定主体	1
4 計画期間	1
II 東三河の現状と課題	2
1 スポーツ大会の開催状況	2
2 地域振興に活用するための課題	8
III 基本の方針と取組体系及び目標	9
1 基本の方針と取組体系（3つの方針と7つの主な取組）	9
2 目標	10
IV 主な取組内容	11
1 地域連携によるスポーツ大会の新展開	11
(1) 新たなスポーツ大会の開催	11
(2) 既存の大会をつなぐ連携協力の推進	12
2 世界・全国レベルのスポーツ大会の招致	13
(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致	13
(2) 世界・全国レベルの大会の招致	13
3 スポーツ大会による地域振興	14
(1) 観光との連携	14
(2) 多様な主体との連携	15
(3) 各種大会の充実・普及	15
V 推進体制等について	16
1 推進体制	16
2 推進プランの進捗状況の把握及び見直し	16
VI 平成26年度先導事業 スポーツイベント広域展開検討事業	17
VII 参考資料	18

I 「主要プロジェクト推進プラン」の策定方針

1 テーマの設定

「主要プロジェクト推進プラン」(以下「推進プラン」という。)は、「将来ビジョン」に位置づけた重点的な施策を具体化し、着実に推進していくために策定するもので、平成 26 年度は、「将来ビジョン」に掲げた 7 つの重点的な施策の方向性の中から、戦略的に取り組むべきテーマとして「スポーツ大会を活かした地域振興」と「地域連携事業の戦略展開」を設定した。

本冊は、このうち「スポーツ大会を活かした地域振興」についてとりまとめたものである。

なお、一般的に、スポーツの意義としては、①青少年の健全育成、②地域の一体感や活力の醸成、③経済的効果、④国際的な友好と親善などが挙げられるが、ここでは、スポーツ大会を通じ、特に②地域の一体感や活力の醸成や③経済的効果につなげていくことに重点を置いてとりまとめた。

2 位置づけ

県、市町村、各種競技団体、観光関係団体、民間事業者、大学、NPO等が、共通目標のもと連携・協働して展開する実施計画

3 策定主体

東三河ビジョン協議会（県、東三河の 8 市町村、経済団体、大学等で構成）

4 計画期間

平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間

Ⅱ 東三河の現状と課題

1 スポーツ大会の開催状況

東三河地域では、各自治体によるマラソンに加え、自転車、トライアスロン、サーフィン、ヨット、また新城ラリーや奥三河地域の地形を活かしたトレイルランニングなどの特色あるスポーツ大会が数多く開催されている。

ここでは、地域振興に積極的に活かすという観点から、地域内外から幅広く参加を募るスポーツイベントや広域的な集客力の高いスポーツ競技会等についてとりまとめた。

(1) ランニング

(マラソン・駅伝)

- マラソン大会は、参加者4千人の「穂の国・豊橋ハーフマラソン」を始め、参加者のニーズに合わせた距離別コースや、気軽に走ることができるジョギング部門、また、チームで参加するリレーマラソン・駅伝など多様な参加コースが設けられ、様々なランナーが数多く参加する各地の代表的なスポーツ大会となっている。

<表> 平成26年 主なマラソン大会一覧

開催地	開催月	大会名	大会種目	参加者数	観客数
豊橋市	3月	穂の国・豊橋ハーフマラソン	ハーフ(21.0975 km)	4,342人	—
	11月	豊橋みなとシティマラソン	10km、5km、3km、2km、 ジョギング	4,004人	—
豊川市	6月	豊川リレーマラソン	フル(42.195km) ※リレー形式で走行	2,637人	—
	11月	トヨカワシティマラソン大会	10km、5km、3km、 ジョギング	2,422人	—
蒲郡市	2月	三河湾健康マラソン	10km、ジョギング	3,418人	—
新城市	1月	新城マラソン大会	10km、5km、3km、2km、 ジョギング	2,801人	—
田原市	1月	渥美半島新春マラソン大会	0.7km、0.8km、1.5km、 2.2km、3.6km	250人	—
	2月	田原健康ふれあいジョギング大会	0.8km、1.2km、1.5km、 2.0km、3.0km、5.0km	300人	—
	11月	中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会	83.3km	133人	18,000人
豊根村	11月	とよねみどり湖ハーフマラソン	ハーフ(21.0975 km)、 10km、5km	830人	—

※観客数欄の「—」は公表数字なし。以下同様。

(トレイルランニング)

- 山道を走るトレイルランニングは、奥三河地域の地形を利用し自然を満喫しながら走ることができる競技として定着し、地域外からの参加者も多くなっている。

<表> 平成26年 主なトレイルランニング大会一覧

開催エリア	開催月	大会名	大会種目	参加者数	観客数
新城市	3月	OSJ新城トレイル	32km、11km	1,345人	—
新城市、岡崎市	9月	三河高原トレイルランニングレース	24km、9km	971人	—

<図> 開催位置と開催状況（ランニング）



(2) 自転車

(競技会)

- 豊橋競輪場を拠点とする豊橋自転車競技協会主催の大会を始めとする自転車競技が盛んな地域である。また、舗装された道路でのロードレース以外にも、奥三河地域の特性を活かしたマウンテンバイクのレースやヒルクライム[※]など、数多くの自転車競技の大会が開催されており、東三河地域の大きな特徴となっている。

＜表＞ 平成 26 年 主な自転車競技会一覧

開催地	開催月	大会名	主な競技種目	参加者数	観客数
豊橋市	3月	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル	2時間耐久レース	612人	1,900人
	7月	豊橋自転車競技大会・市民スポーツ祭	チームスプリント、タイムトライアル (1km, 400m)	193人	—
	9月	豊橋万場クリテリウムロードレース大会	個人ロードレース、4時間チームエンデューロ	412人	—
	10月	とよはしチームピスト大会	チームスプリント、タイムトライアル (1km, 500m)	67人	—
新城市	3月	マウンテンバイクゴールドカップ	ショートクロスカントリー、2時間耐久レース	100人	—
	7月	ツール・ド・新城	3時間/2時間エンデューロ、クリテリウム	845人	—
豊根村	9月	マウンテンバイク 4時間耐久レース in 茶臼山	4時間チーム耐久	100人	—

※ヒルクライム：山や丘陵の上り坂に設定されたコースを走るタイムレース。

(イベント)

- 順位やタイムを競う競技とは異なる長距離ツーリングイベントは、近年、全国各地で開催され、自転車で走りながらその土地の景色を楽しみ、コース内に設けられた休憩所で地域の特産品や郷土料理のおもてなしを受けられるなど、地域振興に寄与するスポーツイベントとして注目を集めており、東三河地域でも民間主導により活発に開催されている。

＜表＞ 平成 26 年 主なサイクリングイベント一覧

開催エリア	開催月	大会名	大会内容	参加者数	観客数
豊橋市、新城市、東栄町、豊根村	8月	とよはしとよねサイクルマラソン	約 160km、約 80km	150人 ※H25.8	—
田原市	10月	渥美半島ぐる輪サイクリング	約 90km、約 70km、約 30km	2,030人	—
新城市、設楽町、東栄町、豊根村	9月	山岳グランfond三河・鳳来寺山	119.5km (獲得標高 [※] 1,991m) 90.3km (獲得標高 [※] 1,349m)	74人	—

※獲得標高：登りの標高差を足し合わせたもの。

<図> 開催位置と開催状況（自転車）



山岳グランfond三河・鳳来寺山



マウンテンバイク 4時間耐久レース in 茶臼山



ツール・ド・新城



とよはしとよねサイクルマラソン



ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル

渥美半島ぐる輪サイクリング

豊橋万場クリテリウムロードレース大会



(3) マリンスポーツ

- 蒲郡市で開催されるヨットレースやセーリング、赤羽根海岸のサーフィン大会など、マリンスポーツ大会が数多く開催され、東三河地域の大きな特徴となっている。

＜表＞ 平成 26 年 主なマリンスポーツ大会一覧

開催地	開催月	大会名	参加者数	観客数
蒲郡市	5月	エリカカップヨットレース	66艇	2,000人
田原市 (赤羽根海岸)	6月	2014 田原市長杯サーフィン大会	194人	—
	7月	プロサーフィン世界大会	144人	25,000人 ※H25.7



エリカカップヨットレース



プロサーフィン世界大会

(4) 複合

- 水泳、自転車ロードレースを複合させたアクアスロンや、長距離走も加えたトライアスロンなど、東三河地域の多様な自然を活かしたスポーツ大会も競技団体の主導により開催されている。

＜表＞ 平成 26 年 主な複合競技会一覧

開催地	開催月	大会名	参加者数	観客数
蒲郡市	6月	蒲郡オレンジトライアスロン	1,100人	15,000人
	8月	アクアスロン in ラグーナビーチ	137人	—
田原市	9月	トライアスロン伊良湖大会	925人	18,000人



蒲郡オレンジトライアスロン



トライアスロン伊良湖大会

(5) モータースポーツ

- 県営新城総合公園をメイン会場に開催されている「新城ラリー」は全日本ラリー選手権に位置付けられ、観戦者は4万人を超える一大スポーツイベントとなっている。(観客数 48,000 人※H26. 11. 1~11. 2)

また、茶臼山高原で開催される中部・近畿ラリー選手権「シロキヤラリーin 豊根」は第30回を数え、地域に定着したスポーツイベントとなっている。(参加台数 約 50 台※H26. 11)



新城ラリー



シロキヤラリーin 豊根

(6) プロバスケットボール

- 東三河地域は、日本プロバスケットボール (bj リーグ) 「浜松・東三河フェニックス」のホームタウンであり、シーズン戦が年 10 試合程度開催され、毎回、多くの観客を動員している。(東三河地域での観客数 24,000 人※H25. 10~H26. 4)

浜松、東三河で初のプロスポーツチーム ～「浜松・東三河フェニックス」



概要

- 日本プロバスケットボール (bj リーグ：全 22 チーム) 所属
- ホームタウン：浜松市、東三河 (豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市)、岡崎市、湖西市
- レギュラーシーズン (10 月～4 月) 試合数：52 ゲーム
- ホームでの観客動員数：約 57,000 人 (1 試合平均 2,200 人×26 試合)

地域への貢献活動

- 浜松、東三河で初のプロスポーツチームとして、年間を通じたプロスポーツを楽しむ機会を提供。
- 地域スポーツクラブ、学校部活動と連携した青少年育成、競技力向上の普及活動。
- バスケ、チアリーダーをはじめに、他スポーツへ拡充した総合スポーツへの取組の推進。
- 地域イベントや環境、社会福祉事業への積極的な参加と協力。
- スポーツ文化の推進、地域経済の活性化、街のにぎわいづくりなどへの積極的参加。
- ホーム&アウェイのゲーム開催を活用した地域 PR と他地域との交流。



地元小学生との交流会

(出典) 浜松・東三河フェニックスオフィシャルサイト、豊川市ホームページ

2 地域振興に活用するための課題

(地域連携の強化と広域的インパクトのある大会開催)

- 東三河地域の各地で開催される様々なスポーツ大会を地域全体の振興につなげていくには、地域連携の一層強化を図りつつ、集客性や情報発信力の高い広域的インパクトのあるスポーツ大会の実施が求められる。

(世界・全国レベルの大会等の戦略的な招致活動)

- 世界・全国レベルの大会を招致し、東三河地域の人々がハイレベルのプレーを観る機会を増やしスポーツに対する意識の高揚を図り、東三河地域のスポーツ振興につなげることが期待される。
- 県では、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致、育成し、地域活性化につなげていくための取組として、平成 27 年度当初に「あいちスポーツコミッション(仮称)」を設立する。
こうした動きもふまえ、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの合宿受入れ等における連携協力方策の立案や、FIFA フットサルワールドカップ 2020 や関連大会の招致に向けて、東三河地域内における開催候補地の検討が求められる。

(地域振興への一層活用)

- 東三河で広域的インパクトのあるスポーツ大会を展開することや、集客性の高いスポーツ大会を実施することにより、県内外から参加者や観戦者を集め、東三河地域の特産品や観光情報の PR を強化し、地域内外の交流を図り、地域活性化につなげることが求められる。

Ⅲ 基本の方針と取組体系及び目標

1 基本の方針と取組体系（3つの方針と7つの主な取組）

（基本の方針）

- 広域的インパクトのあるスポーツ大会を実施するため、東三河の特色ある地域資源を活用したスポーツ大会の開催や、既存の大会をつなぐ連携協力の推進など地域一体となって新たな展開を進めていく。
- 「あいちスポーツコミッション（仮称）」の検討状況をふまえ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致や、各種競技団体や地元受入れ団体との連携強化など、東三河地域が連携して世界・全国レベルのスポーツ大会の招致を推進していく。
- スポーツ大会による地域振興を図るため、各種大会の充実・普及に取り組むとともに、東三河の豊富な観光資源とスポーツ大会を結びつけたスポーツ大会と観光との連携や競技団体などの多様な主体との連携を推進していく。

こうした取組を通じ、東三河の魅力を地域内外に発信し、観光振興や雇用拡大などにつなげていくことで、東三河地域の振興を図っていく。

（取組体系）

- このような基本の方針のもと、東三河のスポーツ大会を活かした地域振興を推進する取組を次のとおりとする。

〔3つの方針と7つの主な取組〕

1 地域連携によるスポーツ大会の新展開

- (1) 新たなスポーツ大会の開催
- (2) 既存の大会をつなぐ連携協力の推進

2 世界・全国レベルのスポーツ大会の招致

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致
- (2) 世界・全国レベルの大会の招致

3 スポーツ大会による地域振興

- (1) 観光との連携
- (2) 多様な主体との連携
- (3) 各種大会の充実・普及

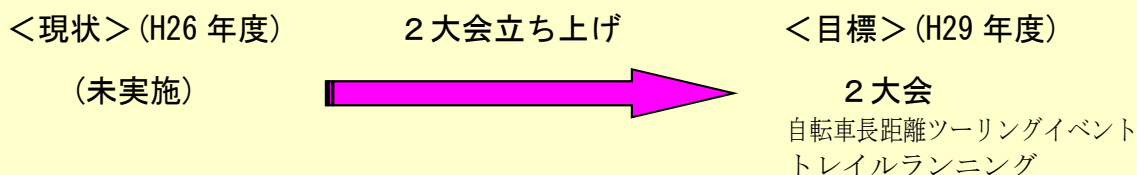
2 目標

前述した基本的方針のもと、着実に取組を展開し、スポーツ大会を活かした地域振興を推進するため、次の3つの数値目標を設定する。

目標1 新たなスポーツ大会の立ち上げ

民間事業者や競技団体、自治体などが連携し、東三河地域全体の振興につながる新たな広域的なスポーツ大会の立ち上げと継続開催を目指す。

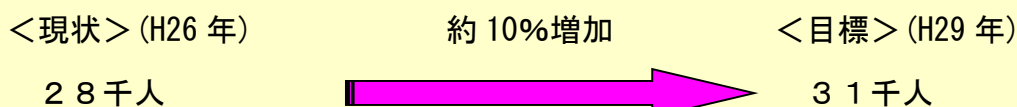
【新たなスポーツ大会数】



目標2 スポーツ大会の参加者数の増加

既存大会のレベルアップや規模拡大、大会間の連携などにより、現状の参加者数28千人を地域全体で約10%増加し、31千人を目指す。

【スポーツ大会の参加者数※】

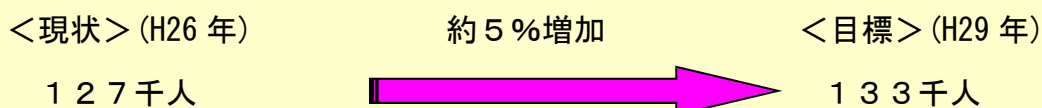


※「1 スポーツ大会の開催状況」(p2-p7)に記載されたH26年開催の大会または今後の新規立上げの大会(目標1の新たな広域的なスポーツ大会は含まない)のうち、参加者が500人以上のもの。

目標3 スポーツ大会の観客数の増加

地域資源を活かした大会の魅力向上や会場収容力の強化、新規大会の招致などにより、現状の観客数127千人を地域全体で約5%増加し、133千人を目指す。

【スポーツ大会の観客数※】



※「1 スポーツ大会の開催状況」(p2-p7)に記載されたH26年開催の大会または今後の新規立上げの大会(目標1の新たな広域的なスポーツ大会は含まない)のうち、観客数が1,000人以上で公表されているもの。

※「浜松・東三河フェニックス」の観客数はbjリーグ2013-2014シーズン(H25.10~H26.4)で算入。

IV 主な取組内容

1 地域連携によるスポーツ大会の新展開

(1) 新たなスポーツ大会の開催

民間事業者を主体として、競技団体や自治体、観光関係団体、地元住民も一体となって、自転車長距離ツーリングイベントを核とした新たなスポーツ大会を立ち上げ、持続的展開を図る。また、奥三河地域の地形を活かしたトレイルランニングを充実開催していく。

さらに、こうしたモビリティスポーツを広域的な地域資源として磨き上げ、地域ブランド強化にもつなげていく。

〔3箇年工程表〕

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①新たなスポーツ大会の立ち上げと持続的展開 H26 県先導事業関連	民間事業者、競技団体、県、市町村、観光関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車長距離ツーリングイベント ・運営体制の検討 ・準備委員会発足 ・開催 ・イベント内容の充実検討 		
②奥三河地域の地形を活かしたトレイルランニングの開催	民間事業者、県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・奥三河パワートレイル ・開催 ・競技の普及定着と大会の充実方策などの検討 ・練習会など大会以外のコース利活用検討 		
③地域ブランド強化に向けたスポーツ情報の発信 H26 県先導事業関連	愛知県東三河広域観光協議会、県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを活用した普及啓発 		

～自転車長距離ツーリングイベント先進事例～

『グランfond富山2014』

- 開催日 2014年6月1日(日)
- メイン会場 ドリームスタジアム富山(富山競輪場)
- 主催 グランfond富山2014実行委員会
(※地元自転車関係団体、テレビ局などで構成)
NPO 法人富山サイクル交流倶楽部
富山県自転車競技連盟

■参加者数 1,307人

■コース設定

- ・180km (750名)
- ・130km (426名)
- ・80km (62名)
- ・50km (69名)

【エイドステーション】



【スタート地点】



【走行風景】



(2) 既存の大会をつなぐ連携協力の推進

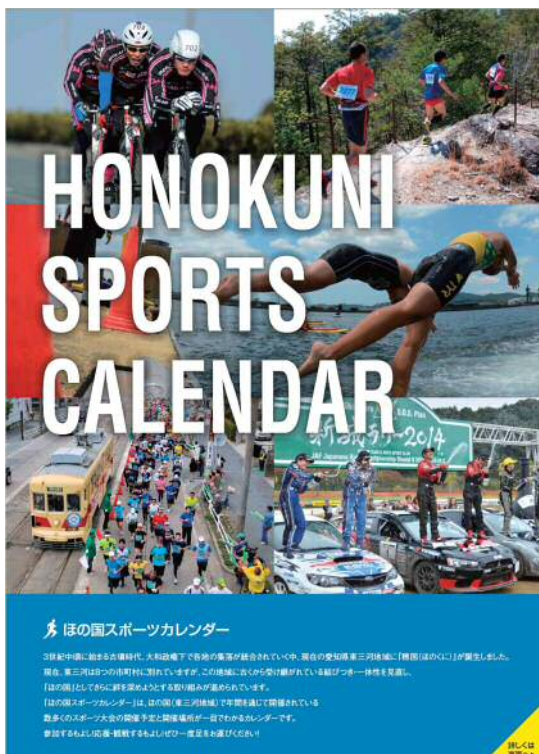
東三河の各地域で実施されているスポーツ大会の連携方策を検討し、より多くの人々が参加でき、楽しむことができる仕組み作りに取り組むなど、既存のスポーツ大会のさらなる盛り上げを図っていく。

[3箇年工程表]

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H 2 7	H 2 8	H 2 9
①シリーズ戦等による大会間の連携強化	愛知県東三河広域観光協議会、各種競技団体、県、市町村	シリーズ戦の検討		
		シリーズ戦の開催		
		<ul style="list-style-type: none"> 同種のスポーツ大会への共通ポイント制などの検討 HP やチラシ等による普及啓発 		
②「スポーツカレンダー」による情報発信	愛知県東三河広域観光協議会、各種競技団体、県、市町村	「スポーツカレンダー」の作成		
		HP により、大会や試合結果、スポーツ関連行事等の情報をタイムリーに発信		
		定期的に情報更新		

「スポーツカレンダー」

(表面)



(裏面)

The back cover of the 'Sports Calendar' displays a detailed table of events. The table has columns for '期日' (Date), '地域' (Location), '大会名' (Event Name), '詳細を知りたい方へ' (For those who want more details), and '問い合わせ先' (Contact Information). The events listed include various cycling, triathlon, and swimming races across different municipalities in the Tokai region.

2 世界・全国レベルのスポーツ大会の招致

(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致

「あいちスポーツコミッション（仮称）」設立の動きをふまえ、情報の共有化など東三河地域での連携を強化し、既存の施設や地域資源を最大限活用し、地域が一体となって2020年東京オリンピック・パラリンピック合宿の誘致活動を行っていく。

[3箇年工程表]

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①既存の施設や地域資源を活用した合宿の誘致活動	競技団体、県、市町村、観光関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋総合スポーツ公園の活用（豊橋市） 総合スポーツ公園を中心とした室内施設のPR、及び各競技団体との連携の強化 ・豊田自動織機 海陽ヨットハーバーの活用（蒲郡市） 海陽ヨットハーバー等周辺マリーナ施設のPR、及び当該施設での大会実績のさらなる向上 ・トライアスロン事前合宿誘致活動（田原市） 活動スケジュールの策定及び受入体制・経済効果・PR方法の調査、特産品のスプレー菊を使ったビクトリーブーケのPR ・宿泊施設の提携等に関する観光関係団体との連携や、広域的なインフラ活用方策の検討 		
②その他候補地の検討と連携強化	県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・合宿候補地や広域連携による誘致活動の検討 		

(2) 世界・全国レベルの大会の招致

FIFA フットサルワールドカップ2020や関連大会の招致に向けて、東三河地域内における開催候補地を検討していく。また、各種競技団体や地元受入れ団体との連携を強化し、世界・全国レベルの大会の招致を目指していく。

[3箇年工程表]

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①FIFA フットサルワールドカップ2020や関連大会の招致に向けた開催候補地の検討	県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・会場施設調査や開催候補地の検討 ・交通アクセスや宿泊施設等の調整 		
②各種競技団体、地元受入れ団体の連携強化	各種競技団体、県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・各種競技団体、地元受入れ団体の連携方策の検討 ・マラソン・駅伝や自転車、マリンスポーツ、モータースポーツ、雪上スポーツ、プロスポーツなど、大会開催実績を活かした世界・全国レベルの大会招致の検討 		

3 スポーツ大会による地域振興

(1) 観光との連携

大会会場において物産フェアや観光フェアを開催することで、スポーツ大会やプロスポーツの集客力の向上と合わせて地域PRの強化に取り組むとともに、スポーツツーリズムやヘルスツーリズムを普及促進することで、さらなる観光誘客を図っていく。

特に、新たな立ち上げと持続開催を目指す2大会(自転車長距離ツーリングイベント、トレイルランニング)をモデルとして、観光連携に積極的に取り組んでいく。

〔3箇年工程表〕

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①参加者や観戦者への地域PRの強化	民間事業者、観光関係団体、県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> 大会会場における物産フェアや、観光フェアの充実・拡大 茶臼山高原スキー場などの観光拠点の会場活用や、観光スポットを巡るコースの設定を支援 		
②スポーツツーリズムやヘルスツーリズムの普及促進	民間事業者、観光関係団体、県、市町村	<ul style="list-style-type: none"> スポーツツーリズム、ヘルスツーリズムのツアー造成を検討 HPやチラシ等による普及啓発 		
③新たなスポーツ大会をモデルとした評価・検証	民間事業者、県、市町村、大学等	<ul style="list-style-type: none"> 自転車長距離ツーリングイベントとトレイルランニングの2大会観光連携事業のモデル立案、実証実施、改善策の検討 経済波及効果の評価・検証 		

<事例紹介 大会会場における地域PR>

【トライアスロン伊良湖大会】

(参加者や観戦者への地元特産品の提供)



- ゴール会場での参加者及び観戦者へのあさり汁の提供
- ゴール選手への渥美半島産のメロンの提供
- 前夜祭での地元産の新鮮野菜の提供や、花火大会の開催による地元の人々との交流。

【新城ラリー】

(地元特産品の販売)



(チェーンソーアート実演)





- 奥三河特産品(ピピット!あいち)や五平餅(茶臼の里組合)の販売
- 奥三河の間ばつ材を使った工作体験
- 地元飲食店や、軽トラ市出展者による飲食販売
- 観光協会や湯谷温泉発展会などによる地元PRブース

- チェーンソーアートクラブ「マスターズ・オブ・ザ・チェーンソー東栄」の会長によるチェーンソーアートの実演

(2) 多様な主体との連携

各種競技団体や指導者、選手と連携し、大会等を通じたスポーツの普及拡大や、スポーツを通じた地域貢献活動等の地域振興策、大会を支える運営ボランティアの育成方策等を検討し、多様な主体の参画促進を図っていく。

〔3箇年工程表〕

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①各種競技団体・指導者等との連携	各種競技団体、県、市町村	 <ul style="list-style-type: none"> ・大会等における選手との交流や普及イベント・スポーツ教室の開催 ・各種競技団体や指導者と連携して地域振興方策を検討 		
②スポーツ大会運営ボランティアの育成	各種競技団体、県、市町村、大学等	 <ul style="list-style-type: none"> ・各大会の連携による運営ボランティアの育成方策を検討 		



<事例紹介 スポーツ大会における地域貢献活動>

<p>【三河湾健康マラソン】 (地元ボランティアの活動)</p>  <p>地元ボランティア (総勢 210名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「競技ボランティア」(144名) (走路役員及び車椅子ランナー補助役員として競技における安全を確保) ・「運営ボランティア」(66名) (参加者受付やドリンクサービス及び手荷物預かり等円滑な運営・サービスの向上に従事) 	<p>【穂の国・豊橋ハーフマラソン】 (地元ボランティアによる競技運営と安全確保)</p>  <p>「日本一安全な大会」を目指し以下のボランティアを配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技運営ボランティア (550名) ・市民ボランティア (450名) ・「穂の国ランニングサポーター」(500名) (参加者のうち有志により救命講習を受講し、レース中のアクシデントに対応) ・救護ボランティア (150名) (25か所の救護ポイントに有資格者を中心に配置)
--	---

(3) 各種大会の充実・普及

各種スポーツ大会の競技力の向上や参加者の拡大などに取り組むとともに、地域スポーツ選手・チームの育成・強化を支援し、大会の充実・普及を図っていく。

〔3箇年工程表〕

取組内容	主な取組主体	実施年度		
		H27	H28	H29
①各種大会の競技力・魅力の向上	各種競技団体、県・市町村体育協会、県、市町村	 <ul style="list-style-type: none"> ・有力選手の招へい等による競技レベルの向上 ・大会PRの強化や種目の多様化等による参加者の拡大 		
②選手・チームの育成強化の支援	各種競技団体、県・市町村体育協会、県、市町村	 <ul style="list-style-type: none"> ・県体育協会を中心としたジュニア選手の発掘・育成・強化の支援 ・トップアスリート・チームと連携した巡回指導等による育成支援 		

V 推進体制等について

1 推進体制

東三河全域の観光振興を推進する官民共同組織である「愛知県東三河広域観光協議会」と東三河県庁の連絡調整を通じて、各主体の連携・協力を深めつつ、各取組間相互の調整を図ることで、取組効果を高めるとともに、実効性を確保していく。

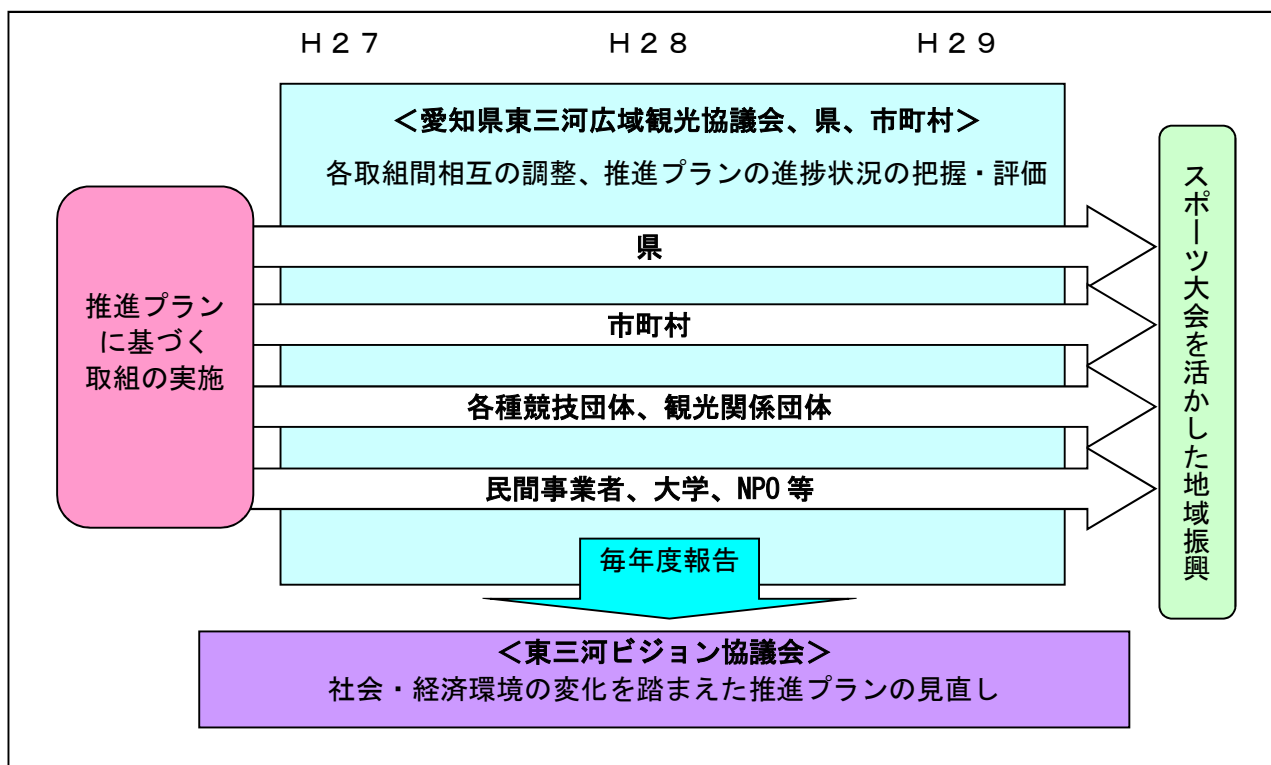
そして3箇年工程表で明記した県、市町村、各種競技団体、観光関係団体、民間事業者、大学、NPO等の各主体がそれぞれの取組を着実に推進していく。

2 推進プランの進捗状況の把握及び見直し

関係団体、県、市町村が連携・協力しながら、毎年度、推進プランに基づいて実施する取組の進捗状況の把握及び評価を実施し、東三河ビジョン協議会へ報告していく。

東三河ビジョン協議会においては、社会・経済環境の変化を踏まえて随時ローリングを行うなど、推進プランを柔軟に見直していく。

【推進イメージ】



VI 平成 26 年度先導事業 スポーツイベント広域展開検討事業

東三河地域では、奥三河や三河湾の豊かな自然環境や地域特性など、豊富な地域資源を有する中で、特色あるスポーツ大会が数多く開催されている。

こうした状況をふまえ、広域的なスポーツイベントの新たな展開とあわせた、東三河の魅力を感じることができる仕掛けづくりと、継続発展的なスポーツイベントが実施可能な運営体制づくりについて事例調査をふまえた「スポーツイベント広域展開検討事業」を実施した。主な内容は以下のとおり。

1 東三河ロングライドの企画

県内外の広域ロングライドイベントの事例調査や、実際に東三河地域での試走会を実施し、コース上の課題や、開催に向けての調整事項等を整理した。また、大会を開催するうえで必要な関係機関との調整やスケジュールを作成し、大会による地域振興策についても検討した。

【県内外事例調査】

先進地事例調査	
県外	富山グランfond 2014 (富山県)
	石見グランfond 2014 (島根県)
県内	渥美半島ぐる輪サイクリング
	岡崎市サイクリング大会

【ロングライド試走会コースマップ (H26. 11. 23 実施)】



【大会運営体制の検討】

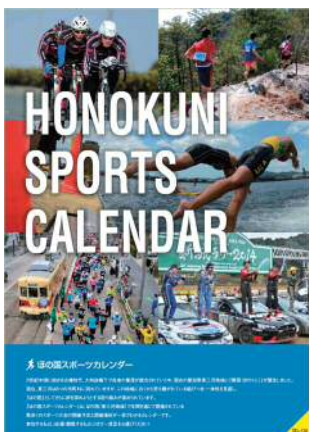
参加費	ロング 8,000 円、ミドル 7,000 円、ショート 6,000 円 (合計 1,000 名程度)
開場設営	スタート&ゴール、エイドステーション 5 か所
広告宣伝	大会パンフレット、ポスター、大会専用 WEB ページ、スポーツエントリー会員 1 万名へのメール配信、サイクリング専門雑誌への掲載
スタッフ	立哨 20 名、エイドステーション 5 名×5 か所、巡回、受付、誘導等 5 名、MC、看護師
車両費	巡回、回収、立哨送迎等 5 台

2 「ほの国スポーツカレンダー」の作成

東三河の各地域で実施されているスポーツ大会の連携方策として、既存スポーツ大会をとりまとめた「ほの国スポーツカレンダー」を作成した。愛知県東三河広域観光協議会ホームページへの掲載や、各スポーツ大会での配布など、情報発信を行う。

【スポーツカレンダー】

【愛知県東三河広域観光協議会 HP 掲載 (イメージ)】



種別	開催日時	開催場所	主催/協賛団体	申し込み状況
1.1	1/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
1.18	1/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
2.1	2/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
2.18	2/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
3.1	3/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
3.18	3/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
4.1	4/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
4.18	4/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
5.1	5/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
5.18	5/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
6.1	6/1	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%
6.18	6/18	豊田	豊田マラソン	申し込み状況: 100%

VII 参考資料

1 東三河地域の主なスポーツ施設

豊橋総合体育館



- [所在地] 豊橋市神野新田町字メノ割 1-3
- [開場] 1989年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 第1競技場面積 3,450㎡
- [収容人員] 3,000人
- [種目等] バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、テニス、バドミントン等
- [アクセス] 豊鉄バス「総合スポーツ公園」下車
- [駐車台数] 410台（豊橋総合スポーツ公園）

豊橋市総合運動公園 陸上競技場



- [所在地] 豊橋市今橋町4番地（豊橋市総合運動公園内）
- [開場] 1949年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 第三種公認、青色全天候トラック一周 400m 8レーン、全天候フィールド、直走路 145m
- [収容人員] 12,000人
- [種目等] 陸上競技全般、サッカー
- [アクセス] 市内電車「豊橋公園前」下車、徒歩 10分
- [駐車台数] 200台（豊橋市総合運動公園）

豊橋市総合運動公園 野球場



- [所在地] 豊橋市今橋町4番地（豊橋市総合運動公園内）
- [開場] 1948年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 両翼 100m、中央 116m、バックネット本塁間 18m
- [収容人員] 15,000人
- [種目等] 硬式野球、軟式野球、ソフトボール
- [アクセス] 市内電車「豊橋公園前」下車、徒歩 10分
- [駐車台数] 200台（豊橋市総合運動公園）

東田球場



- [所在地] 豊橋市東田町 87(東田公園内)
- [開場] 1940年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 両翼 91m、中央 110m、バックネット本塁間 18.3m
- [収容人員] 5,000人
- [種目等] 軟式野球、ソフトボール
- [アクセス] 市内電車「競輪場前」下車、徒歩 10分
- [駐車台数] 200台

豊橋市民球場



- [所在地] 豊橋市岩田町1-2(岩田運動公園内)
- [開場] 1980年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 両翼 93m、中央 115m、バックネット本塁間 18.5m
- [収容人員] 15,000人
- [種目等] 硬式野球、軟式野球、ソフトボール
- [アクセス] 市内電車「運動公園前」下車、徒歩 3分
- [駐車台数] 300台（岩田運動公園）

豊橋市民球技場



- [所在地] 豊橋市岩田町1-2(岩田運動公園内)
- [開場] 1982年
- [管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
- [会場規模] 競技場 150m×85m 12,750㎡
- [収容人員] 4,000人
- [種目等] ラグビー、サッカー
- [アクセス] 市内電車「運動公園前」下車、徒歩 3分
- [駐車台数] 300台（岩田運動公園）

豊橋市民庭球場



[所在地] 豊橋市岩田町1-2(岩田運動公園内)
[開場] 1981年
[管理者] 公益財団法人 豊橋市体育協会
[会場規模] コート6面(全天候)
[収容人員] 500人
[種目等] 硬式庭球
[アクセス] 市内電車「運動公園前」下車、徒歩3分
[駐車台数] 300台(岩田運動公園)

豊橋競輪場



[所在地] 豊橋市東田町87番地
[開場] 1949年
[管理者] 豊橋市
[会場規模] 60,482㎡、走路一周延長400m
[収容人員] 20,000人
[種目等] 自転車競技全般
[アクセス] 市内電車「競輪場前」下車、徒歩8分
[駐車台数] 1,614台

豊川市総合体育館



[所在地] 豊川市諏訪3丁目246
[開場] 1990年
[管理者] ハクヨプロデュースシステム・ホームックス共同企業体
[会場規模] メインアリーナ 49.2m×36.2m
[収容人員] 720人
[種目等] バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン等
[アクセス] 名鉄豊川線「諏訪町駅」下車、徒歩6分
[駐車台数] 90台

豊川市野球場



[所在地] 豊川市諏訪1丁目79
[開場] 1993年改装
[管理者] ハクヨプロデュースシステム・ホームックス共同企業体
[会場規模] 両翼91.6m、中央116.0m、バックネット本塁間18.5m
[収容人員] 2,200人(観覧席)
[種目等] 硬式野球、軟式野球、ソフトボール等
[アクセス] 名鉄豊川線「諏訪町駅」下車、徒歩7分

豊川市陸上競技場



[所在地] 豊川市諏訪1丁目80
[開場] 2012年改装
[管理者] ハクヨプロデュースシステム・ホームックス共同企業体
[会場規模] 第3種公認、全天候トラック一周400m8レーン、直走路115m
[収容人員] 698人(スタンド席)
[種目等] 陸上競技全般、サッカー、グラウンド・ゴルフ
[アクセス] 名鉄豊川線「諏訪町駅」下車、徒歩10分

蒲郡市体育センター



[所在地] 蒲郡市緑町3番69号
[開場] 1968年
[管理者] 日本環境マネジメント株式会社
[会場規模] 競技場 42m×36.2m
[収容人員] 1,300人
[種目等] バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ハンドボール、フットサル等
[アクセス] JR東海道線・名鉄蒲郡線「蒲郡駅」下車、徒歩15分
[駐車台数] 105台

蒲郡市公園グラウンド(野球場)



[所在地] 蒲郡市形原町桶沢27
[開場] 1973年
[管理者] NPO法人蒲郡アスリートコミュニケーションズ
[会場規模] 両翼93m、中央119m、バックネット本塁間17.5m
[収容人員] 6,900人
[種目等] 硬式野球、軟式野球、ソフトボール
[アクセス] 名鉄蒲郡線「形原駅」下車、徒歩15分
[駐車台数] 135台

蒲郡市公園グランド（陸上競技場）



[所在地] 蒲郡市形原町桶沢27
[開場] 1973年
[管理者] NPO法人蒲郡アスリートコミュニケーションズ
[会場規模] シンダートラッカー周400m8レーン、直走路100m
[収容人員] 1,200人
[種目等] 陸上競技全般、サッカー
[アクセス] 名鉄蒲郡線「形原駅」下車、徒歩15分
[駐車台数] 135台

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー



[所在地] 蒲郡市海陽町一丁目7番地
[開場] 1993年
[管理者] 公益財団法人 愛知県都市整備協会
[会場規模] 野積場（ボートヤード）ディンギー538艇・クルーザー42艇、レンタルヨット50艇、係留施設（浮桟橋）延べ40m×2か所、延べ80m×1か所
[種目等] ディンギー型ヨット、クルーザー型ヨット
[アクセス] 名鉄バス「海陽ヨットハーバー」下車すぐ
[駐車台数] 358台

新城総合公園（野球場）



[所在地] 新城市浅谷字ヒヨイタ40
[開場] 1985年
[管理者] 公益財団法人 愛知県都市整備協会
[会場規模] 両翼92m、中央120m、バックネット本塁間19m
[収容人員] 7,000人
[種目等] 硬式野球、軟式野球、ソフトボール
[アクセス] JR飯田線「大海駅」下車、徒歩20分
[駐車台数] 554台（新城総合公園）

新城総合公園（陸上競技場）



[所在地] 新城市浅谷字ヒヨイタ40
[開場] 1986年
[管理者] 公益財団法人 愛知県都市整備協会
[会場規模] トラッカー一周400m8レーン、直走路100m
[収容人員] 8,200人
[種目等] 陸上競技全般、サッカー等
[アクセス] JR飯田線「大海駅」下車、徒歩20分
[駐車台数] 554台（新城総合公園）

田原市白谷海浜公園陸上競技場



[所在地] 田原市白磯5番地
[開場] 2001年
[管理者] 田原市 指定管理-田原市白谷区
[会場規模] 第4種公認、全天候型トラッカー一周400m8レーン、直走路100m
[収容人員] 5,000人
[種目等] 陸上競技全般、サッカー等
[アクセス] ぐるりんバス「白谷海浜公園バス停」下車、徒歩1分
[駐車台数] 800台

田原市滝頭公園野球場



[所在地] 田原市田原町西滝頭6番地
[開場] 1986年
[管理者] 田原市 指定管理-田原市田原区
[会場規模] 両翼91m 中央110m バックネット本塁間18.3m
[収容人員] 600人
[種目等] 硬式野球、軟式野球
[アクセス] ぐるりんバス「滝頭公園バス停」下車、徒歩1分
[駐車台数] 134台

茶臼山高原スキー場



[所在地] 北設楽郡豊根村坂宇場字御所平70-185
[開場] 1986年
[管理者] 一般財団法人 茶臼山高原協会
[会場規模] コース総延長2,000m、標高トップ1,360m 標高ボトム1,215m
[収容人員] 5,000人
[種目等] スキー、スノーボード等
[アクセス] 東名高速道路豊川ICより約80km（2時間）
[駐車台数] 1,000台

2 策定経緯

(1) 平成 26 年度の東三河ビジョン協議会等の開催状況

年月日	主な内容
H26. 4. 16	第 1 回 東三河ビジョン協議会 企画委員会 (以下「企画委員会」) <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度主要プロジェクト推進プランの策定スケジュールについて 平成 26 年度のテーマ「地域連携事業の戦略展開」に係る具体化策 (リーディングプロジェクト) の進め方について
H26. 5. 7	第 1 回 企画委員会 検討ワーキング (以下「検討ワーキング」という。)
H26. 5. 29	第 2 回 検討ワーキング
H26. 6. 24	第 3 回 検討ワーキング
H26. 6. 27	第 2 回 企画委員会 <ul style="list-style-type: none"> 将来ビジョン及び平成 24 年度主要プロジェクト推進プラン「広域観光の推進」の進捗状況について 平成 26 年度主要プロジェクト推進プランの骨子 (案) 及び先導事業について
H26. 7. 23	第 1 回 東三河ビジョン協議会 <ul style="list-style-type: none"> 将来ビジョン及び平成 24 年度主要プロジェクト推進プラン「広域観光の推進」の進捗状況について 平成 26 年度主要プロジェクト推進プランの骨子 (案) について
H26. 9. 3	第 4 回 検討ワーキング
H26. 11. 7	第 5 回 検討ワーキング
H26. 11. 28	第 3 回 企画委員会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度主要プロジェクト推進プランの中間とりまとめ (案) について
H26. 12. 22	第 2 回 東三河ビジョン協議会 <ul style="list-style-type: none"> 本年度策定する主要プロジェクト推進プランの中間とりまとめ (案) について (スポーツ大会を活かした地域振興、地域連携事業の戦略展開)
H27. 1. 15~2. 13	パブリックコメント <ul style="list-style-type: none"> 東三河振興ビジョン「主要プロジェクト推進プラン」中間とりまとめに対する意見の募集
H27. 2. 20	第 4 回 企画委員会 <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果について 平成 26 年度「主要プロジェクト推進プラン」の最終とりまとめに向けた意見調整について
H27. 3. 18	第 5 回 企画委員会 <ul style="list-style-type: none"> 本年度策定する主要プロジェクト推進プラン (案) について (スポーツ大会を活かした地域振興、地域連携事業の戦略展開) 主要プロジェクト推進プランの平成 27 年度テーマ (案) について
H27. 3. 25	第 3 回 東三河ビジョン協議会 <ul style="list-style-type: none"> 本年度策定する主要プロジェクト推進プラン (案) について (スポーツ大会を活かした地域振興、地域連携事業の戦略展開) 主要プロジェクト推進プランの平成 27 年度テーマ (案) について

※参考 検討ワーキング参加機関 (◎はとりまとめ役)

- ・豊橋市 ・豊川市 ・蒲郡市 ・新城市 ・田原市 ・設楽町 ・東栄町 ・豊根村
- ・愛知県東三河広域観光協議会 ・㈱日本旅行 ◎愛知県

(2) パブリックコメント

推進プランの中間とりまとめに対する意見の募集(パブリックコメント)を実施した。

募集期間	平成 27 年 1 月 15 日から平成 27 年 2 月 13 日まで
意見募集の周知方法	県政記者クラブ・豊橋市政記者クラブへの記者発表 愛知県・東三河 8 市町村のホームページへの掲載 東三河県庁 (東三河総局)・東三河 8 市町村等での閲覧
意見募集の結果	意見の提出者数：36 人 意見の件数：47 件